

9	法 学 部
---	-------

〔教育研究上の目的〕

法律学及びその関連科目を広く学ぶことを通じて、社会に生起するさまざまな問題について法的に考える力を養うこと

〔人材養成の目的〕

現代社会に対応できるような法的思考能力や問題分析能力を有し、かつ国内だけでなく国際社会でも活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部では、法的な基本知識や思考枠組とともに、広い視野と柔軟な思考をもって、主体的に問題の分析や解決にあたるような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を各学科で定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 法的な基本知識や思考枠組を修得し、広い視野と柔軟な思考をもって問題の分析や解決にあたることができるよう、法律基本科目を基礎に置きながら、その発展的・先端的な法律科目を配置するとともに、政治学・経済学・国際関係論といった隣接科目を揃え、学科横断的に学ぶ。
2. 問題意識と学問的な関心をもって、より主体的に、かつ、掘り下げた議論ができるよう、少人数制のゼミナール形式の演習を設ける。

法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通

1. 履修計画について

①この履修モデル案は、履修科目の選択に際して参考とすべきおおよそのガイドラインを示すものである。

②卒業に要する科目のうち、3学科共通の必修科目〔法学入門、導入演習、憲法（基本的人権）、憲法（統治機構）、民法総則Ⅰ（自然人、物、法律行為）、民法総則Ⅱ（代理、法人、期間、時効）、必修演習〕は記載していない。また、学科によって必修科目とされているもの（英語導入演習、債権法各論Ⅰ（契約）、債権法各論Ⅱ（事務管理、不当利得、不法行為）、刑法総論、国際法総論、行政法総論、環境法入門、環境法総論、環境法各論）については*記号を付けている。所属する学科に応じて、必修科目、選択必修科目、選択科目の別を確認されたい。

なお、※印の科目は、他学部他学科科目Ⅰ（p.446参照）で、法学部学科科目C群（選択科目）として認められているものである。科目の性質上、全学共通科目または語学科目で法学部学科科目C群（選択科目）として認められるものについては掲記していない。

③この履修モデル案は、法学部の学生が興味を抱くような領域に応じて区分している。複数の興味を抱いている場合には、それらを組み合わせて考えてみるとよい。

④履修計画は、基本的には、所定の履修年次にそって立てることが望ましいが、年度毎の開講科目、授業時間割によっては、必ずしも履修モデル案どおりに履修できるわけではないことに留意されたい。

○法曹に興味がある

2019年次生以降は法曹コース（p.453参照）に登録のうえ、同コースの指定科目・推奨科目を中心に計画的な履修をおこなうこと。下記の表は、法曹コース以外の一般的な例示である。

1年次	2年次～	3年次～
	*刑法総論 *行政法総論 物権法 担保物権法 債権法総論Ⅰ・Ⅱ *債権法各論Ⅰ・Ⅱ 刑法各論	行政救済法 親族法 相続法 会社法Ⅰ・Ⅱ 手形・小切手法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 刑事訴訟法 商取引法 憲法訴訟 司法試験選択科目とされているもの (労働法Ⅰ・Ⅱ 経済法 租税法 倒産処理法 知的財産権法Ⅰ・Ⅱ *環境法総論 環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ *国際法総論 国際法各論 国際私法 国際取引法総論 国際取引法各論) のうちから少なくとも1～2科目

○行政に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
※ミクロ経済学A・B ※マクロ経済学A	*刑法総論 *行政法総論 行政救済法 物権法 債権法総論Ⅰ・Ⅱ 刑法各論 現代日本政治論 規制と法 政治学 ※国際経済学1・2 ※マクロ経済学 B ※ミクロ経済学C	現代行政学 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 租税法 規制と政治 法律学特殊講義Ⅰ(立法過程の実務と理論) ※マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ

○国際関係に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	*国際法総論 国際政治学 国際法各論 ※国際政治史1・2 ※INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS (国際関係論入門) LEGAL WRITING	国際紛争処理法 EU法 国際組織法 国際関係法特殊講義(外交と国際法) 国際関係特殊講義(日中関係の歴史と展望) HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT

○環境に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
*環境法入門 *環境法総論	*環境法各論 *行政法総論 *刑法総論 環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政救済法 比較環境法 エネルギーと法 環境社会学 ※南アジア社会経済論	国際環境法 自治体環境法 自然保護法 ヨーロッパ 環境法 アジア環境法 地球温暖化と法 環境刑法 企業環境法 廃棄物・リサイクル法 規制と政治 まち づくりと法 企業環境マネジメント論 環境問題特殊 講義(企業活動と環境法コンプライアンス) 環境法特 殊講義(環境訴訟の展開) アメリカ環境法

○経済活動に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
※ミクロ経済学A・B ※マクロ経済学A	物権法 担保物権法 債権法総論Ⅰ・Ⅱ ※マクロ経済学B ※国際経済学1・2 ※アジアとグローバル企業 NEGOTIATION WORKSHOP GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR ※ミクロ経済学C	会社法Ⅰ・Ⅱ 手形・小切手法 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 商取 引法 保険法 海商法 租税法 経済法 知的財産権 法Ⅰ・Ⅱ 消費者法 国際取引法総論 国際取引法各論 国際租税法 国際経済法 法律学特殊講義Ⅱ(信託法) 法律学特殊講義Ⅳ(金融商品取引法) BUSINESS FUNDAMENTALS:ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS CONTRACTS CORPORATIONS TORTS PROPERTY

○法律の基礎理論に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	比較法Ⅰ・Ⅱ LAW AND SOCIETY COMPARATIVE LAW SEMINAR	法哲学 英米法Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb ドイツ法Ⅰa・Ⅰb・Ⅱ フランス法Ⅰ・Ⅱ アジア法 西洋法制史 法律学特殊 講義Ⅲ(法思想史) JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅡ

○政治・国際政治に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	政治学 国際政治学 JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES ※国際政治史1・2 ※外交政策1・2 ※JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS(日本の政 治) ※国際協力論1・2 ※グローバル化と文化1・2	現代行政学 法哲学 規制と政治 比較憲法 国際関 係特殊講義(日中関係の歴史と展望) 法律学特殊講義Ⅲ(法思想史) INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT 比較政治論 COMPARATIVE POLITICS INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER

2. 履修上の留意事項について

①最高履修限度

履修登録単位数は各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超過して履修登録することはできない。また、春・秋各学期の履修登録単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

1年次			2年次			3年次			4年次			合計
春	秋	年間										
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

※春：春学期・1Q・2Q科目，秋：秋学期・3Q・4Q科目

なお、学期・年間別最高履修限度を超過して登録しなければならない場合は、事前に学科長に願い出ること。卒業にかかわるなど、特に理由がある場合には、審査のうえ、上記限度を超えた登録を認めることがある。

②下記の科目は変更前と変更後のものについて同一科目とみなすので、これらの科目を重複して履修しても卒業に必要な単位数に含まれるのは1科目のみである。

変更前			変更後		
科目コード	開講年度	科目名	科目コード	開講年度	科目名
335810	～2012	知的財産権法 (4単位)	→ 335811 335812	2013～ 2013～	知的財産権法Ⅰ (4単位) 知的財産権法Ⅱ (4単位)
337500	～2013	行政学 (4単位)	→ 337501	2014～	現代行政学 (2単位)
336504	～2013	地域共同体法(EU法)	→ 336505	2014～	EU法
310200	～2013	環境と法	→ 310201	2014～	環境法入門
341300	～2013	環境公法	→ 341301	2014～	環境法総論
310700	～2013	環境汚染防止法	→ 310701	2014～	環境法各論
341100	～2013	環境私法	→ 341102	2014～	環境訴訟法
341500	～2013	生活環境法	→ 341501	2014～	廃棄物・リサイクル法
345025	～2013	国際関係法特殊講義Ⅱ (国際組織法)	→ 345014	2014～	国際関係法特殊講義Ⅰ (国際組織法)
345037	～2013	国際関係法特殊講義Ⅲ (外交と国際法)	→ 345026	2014～	国際関係法特殊講義Ⅱ (外交と国際法)
344803	～2013	国際関係特殊講義Ⅰ (日中関係の歴史と展望)	→ 344808	2014～	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)
330160	～2014	憲法(統治機構)(4単位)	→ 330161	2015～	憲法(統治機構)(2単位)
336001	～2014	社会保障法総論(2単位)	→ 336020	2015～	社会保障法(4単位)
336002	～2014	社会保障法各論(2単位)			
347000	～2014	選択演習(6単位)	→ 347001 347002	2015～	選択演習Ⅰ(3単位) 選択演習Ⅱ(3単位)
347200	～2014	必修演習(6単位)	→ 347003 347004	2015～	必修演習Ⅲ(3単位) 必修演習Ⅳ(3単位)
336202	～2015	国際私法(4単位)	→ 336203	2016～	国際私法(2単位)
335812	～2015	知的財産権法Ⅱ(4単位)	→ 335813	2016～	知的財産権法Ⅱ(2単位)
341102	～2015	環境訴訟法(2単位)	→ 341103 341104	2016～	環境訴訟法Ⅰ(2単位) 環境訴訟法Ⅱ(2単位)
345014	～2015	国際関係法特殊講義Ⅰ (国際組織法)(2単位)	→ 345015	2016～	国際組織法(2単位)
345026	～2015	国際関係法特殊講義Ⅱ (外交と国際法)(2単位)	→ 345027	2016～	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)(2単位)
390320	～2015	BUSINESS LAW SEMINAR I (2単位)	→ 390322	2016～	BUSINESS LAW SEMINAR (2単位)
390321	～2015	BUSINESS LAW SEMINAR II (2単位)			
390380	～2015	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES (2単位)	→ 390382	2016～	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I (2単位)
390330	～2015	INTRODUCTION TO US LAW (2単位)	→ 390331	2016～	INTRODUCTION TO US LAW I (2単位)
336600	～2017	比較法(4単位)	→ 336602 336603	2018～	比較法Ⅰ(2単位) 比較法Ⅱ(2単位)
390381	～2017	LAW AND SOCIETY II (2単位)	→ 390304	2018～	LAW AND SOCIETY (2単位)
390382	～2017	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I (2単位)	→ 390303	2018～	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I (1単位)
311101	～2017	規制と法(2単位)	→ 311102	2018～	エネルギーと法(2単位)
390322	～2017	BUSINESS LAW SEMINAR	→ 390323	2018～	BUSINESS FUNDAMENTALS: ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE

変更前			変更後		
科目コード	開講年度	科目名	科目コード	開講年度	科目名
336020	～2018	社会保障法(4単位)	→ 336021 336022	2019～ 2019～	社会保障法Ⅰ(2単位) 社会保障法Ⅱ(2単位)
333610	～2018	フランス法(4単位)	→ 333611 333612	2019～ 2019～	フランス法Ⅰ(2単位) フランス法Ⅱ(2単位)
332800	～2018	労働法(4単位)	→ 332801 332802	2019～ 2019～	労働法Ⅰ(2単位) 労働法Ⅱ(2単位)
333410	～2018	英米法(4単位)	→ 333411 333412 333413 333414	2019～ 2019～ 2019～ 2019～	英米法Ⅰa(1単位) 英米法Ⅰb(1単位) 英米法Ⅱa(1単位) 英米法Ⅱb(1単位)
333511	～2018	ドイツ法Ⅰ(2単位)	→ 333513 333514	2019～ 2019～	ドイツ法Ⅰa(1単位) ドイツ法Ⅰb(1単位)
333305	～2018	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES(2単位)	→ 333308 333309	2019～ 2019～	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ(1単位) PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅡ(1単位)
330334	～2019	債権法総論(4単位)	→	2020～	債権法総論Ⅰ(2単位) 債権法総論Ⅱ(2単位)
361600	～2019	国際取引法(4単位)	→	2020～	国際取引法総論(2単位) 国際取引法各論(2単位)

- ③学科科目としての外国語について、14年次生以降はp.111～、13年次生以前はp.183～を参照すること。
- ④履修中止については、履修要覧〔ガイド・資料編〕「6. 履修中止」p.34～を参照すること。なお、必修科目の履修中止は認められないが、法学部では「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」に限り履修中止を認める。
- ⑤「導入演習」は、所属クラスの指定されたAまたはBを履修すること。また、「英語導入演習」は、プレイスメントテスト(4月実施)の結果によりA～Dのクラス分けをする。所属クラスは、秋学期の履修登録前にLoyolaに掲示するので、各自確認すること。
- ⑥科目のナンバリング
開講科目担当表に記載された開講科目のナンバリングは、下記のとおり、科目の分野等を示すものである。ナンバリングの趣旨については、履修要覧〔ガイド・資料編〕「4. ナンバリング」(p.21)を参照されたい。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)
CML	COMMERCIAL LAW	商法
CPL	CIVIL PROCEDURAL LAW	民事訴訟法
CRL	CRIMINAL LAW	刑事法
CVL	CIVIL LAW	民事法
ENL	ENVIRONMENTAL LAW	環境法
INL	INTERNATIONAL LAW	国際法
JUR	JURISPRUDENCE	基礎法
LAW	LAW IN GENERAL	法律一般
PBL	PUBLIC LAW	公法
PIL	PRIVATE INTERNATIONAL LAW	国際私法・取引法
POL	POLITICAL SCIENCE	政治学
SCL	SOCIAL LAW	社会法・経済法
SAC	STUDY ABROAD COURSES	留学

3. 学科科目C群の取扱いについて

下記の他学部他学科科目 I，全学共通科目および語学科目については，学科科目C群（選択科目）として取り扱うことができる。ただし，26単位（このうち，全学共通科目については12単位，語学科目については8単位）までしか認められない。

(1) 他学部他学科科目 I

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考	
選択科目	学科科目C群	260710	JRN401-19j00	マスコミ倫理法制論 I	2	(他) 新聞学科
		260711	JRN402-19j00	マスコミ倫理法制論 II	2	(他) 新聞学科
		401103	ECN102-41j00	ミクロ経済学A	2	(他) 経済学科
		401202	ECN105-41j00	ミクロ経済学B	2	(他) 経済学科
		401203	ECN201-41j00	ミクロ経済学C	2	(他) 経済学科
		401110	ECN103-41j00	マクロ経済学A	2	(他) 経済学科
		401120	ECN104-41j00	マクロ経済学B	2	(他) 経済学科
		BGS54000	ICP310-21j00	国際経済学1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS54001	ICP311-21j00	国際経済学2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53800	ICP306-21j00	グローバル化と文化1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53801	ICP307-21j00	グローバル化と文化2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53900	ICP308-21j00	国際協力論1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS53901	ICP309-21j00	国際協力論2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52400	IRS304-21j00	外交政策1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52401	IRS305-21j00	外交政策2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52500	IRS306-21j00	国際政治史1	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS52501	IRS307-21j00	国際政治史2	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55500	ASA313-21j00	南アジア社会経済論	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55400	ASA312-21j00	南アジア史	2	(他) 総合グローバル学科
		BGS55900	ASA317-21j00	アジアとグローバル企業	2	(他) 総合グローバル学科
		POL321	POL321-65e00	JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS (日本の政治)	4	(他) 国際教養学科 (注1)
		POL205	POL205-65e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS (国際関係論入門)	4	(他) 国際教養学科 (注1)

(注1) 英語による授業

(2) 全学共通科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考	
選択科目	学科科目C群	099114	ENV201-02j00	地球環境と科学技術 I	2	(他) 全学共通
		099115	ENV202-02j00	地球環境と科学技術 II	2	(他) 全学共通
		099186	ENV203-02j00	地球環境学 I	2	(他) 全学共通
		099187	ENV204-02j00	地球環境学 II	2	(他) 全学共通
		032702	MMI101-02j00	企業と社会	2	(他) 全学共通
		030601	ECN101-02j00	経済学	2	(他) 全学共通
		099189	SOC102-02j00	社会学	2	(他) 全学共通
		099712	ENV206-02e00	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	(他) 全学共通

(3) 語学科目（14年次生以降対象）

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目	単 位	備 考	
選 択 科 目	学 科 目 C 群	854833	ENG260-01e00	LAW IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854868	ENG261-01e00	LAW IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854829	ENG160-01e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854830	ENG262-01e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854831	ENG161-01e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854832	ENG263-01e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854819	ENG166-01e00	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A	2	(他) 言語教育研究センター
		854821	ENG167-01e00	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B	2	(他) 言語教育研究センター
		854816	ENG143-01e00	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2	(他) 言語教育研究センター
		854823	ENG120-01e00	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	(他) 言語教育研究センター
		854824	ENG220-01e00	GENERAL BUSINESS ENGLISH	1	(他) 言語教育研究センター
		854859	ENG122-01e00	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	(他) 言語教育研究センター
		854860	ENG222-01e00	WRITING FOR BUSINESS COMMUNICATION	1	(他) 言語教育研究センター
		854806	ENG123-01e00	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	(他) 言語教育研究センター
		854807	ENG223-01e00	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS	1	(他) 言語教育研究センター

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

4. 演習について〈2018年度以前の入学者対象〉

- ①在学期間（休学期間を除く）が2年以上の法学部生のみ、履修を認める。
- ②3・4年次以上における演習履修希望者は、前年度の秋（11月）におこなわれる法学部主催の「演習説明会」に出席し、そこでの指示に従って、演習選考の手続をおこなわなければならない（「演習概要」および「演習説明会」開催日時は、秋学期にLoyolaに掲載される）。次年度の履修登録の際は、必ず演習選考の結果に従っておこなうこと。
- ③「選択演習」は3年次以降の選択科目であり、春学期開講「選択演習Ⅰ」、秋学期開講「選択演習Ⅱ」（各3単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ3単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。
 「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「選択演習Ⅰ」を修得しなければ「選択演習Ⅱ」を履修することはできない。「選択演習Ⅰ」の単位を取得し、同一年度内に「選択演習Ⅱ」の単位を取得していない者は、次年度以降に「選択演習Ⅱ」のみの履修はできないが、「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」を履修することはできる。ただし、その場合に、卒業に必要な単位として認められるのは、前年度に修得した「選択演習Ⅰ」の3単位のみである。
- ④「必修演習」は4年次の必修科目であり、春学期開講「必修演習Ⅲ」、秋学期開講「必修演習Ⅳ」（各3単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ3単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「必修演習Ⅲ」を修得しなければ「必修演習Ⅳ」を履修することはできない。ただし、特別の事情（休学・留学）がある場合には、「必修演習」に関する継続履修制度を利用することができるので、法学部事務室で詳細を確認すること。「必修演習Ⅲ」を履修しており、秋学期に休学・留学が決定した者は、必ず法学部事務室に申し出ること。また、「必修演習Ⅲ」の単位を取得し、同一年度内に「必修演習Ⅳ」の単位を取得していない者は、法学部事務室まで相談すること。
- ⑤3年次生は、原則として、「選択演習」の選考手続をおこなう。ただし、次の場合は、例外的な取扱いを認める。
- (a)早期卒業希望者
 早期卒業を希望し、2年次終了時に早期卒業登録の要件（p.450の「早期卒業制度について」参照のこと。）を満たしている場合には、早期卒業登録申請をおこなうとともに、「必修演習」として履修登録する。この場合、学事センターでは「選択演習」で履修制限をかけているため、履修登録前に法学部事務室に連絡をすること。早期卒業登録の取消または早期卒業時期の変更をおこなった場合も、単位の認定を受けた「必修演習」は、そのまま卒業に要する単位として取り扱う。
- (b)交換留学・一般留学予定者
 交換留学・一般留学予定者が、帰国後の年度中に卒業を希望する場合には、帰国手続後に「必修演習」に変更する。その際、一般留学者は、帰国後に、留学にかかる証明書の写しを法学部事務室に提出する（必要な証明書の種類については、法学部事務室に確認すること）。この証明書が提出されない場合、卒業に支障が生じるので、十分に留意されたい。3年次秋学期から留学する場合には、「必修演習」継続履修願を法学部事務室に提出することにより、3年次春学期と同じ教員の演習を4年次秋学期に履修することができる。留学しなかったり、一般留学者で留学にかかる証明書を提出しなかったりした場合には、3年次春学期に取得した3単位しか卒業単位には認められない。また、留学を取り止めて、3年次秋学期に同一教員の演習を履修した場合には、「選択演習」の6単位が卒業単位として認められる。
- ⑥コースAQUILA登録者で一定の条件を満たすものが、「必修演習」を履修する場合、指定演習科目（各年度ごとの上記説明会で示される）を優先的に登録することができる。

〈演習〉

選択科目 (3年次生以上)			単位	必修科目 (4年次生)			単位	開講期	担当者
ナンバリング	科目コード	授業科目名		ナンバリング	科目コード	授業科目名			
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ（憲法）	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ（憲法）	3	春秋	矢島基美
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ（憲法）	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ（憲法）	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ（憲法）	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ（憲法）	3	休講	江藤祥平
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ（憲法）	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ（憲法）	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ（行政法）	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ（行政法）	3	春秋	小幡純子
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ（行政法）	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ（行政法）	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ（行政法）	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ（行政法）	3	春秋	大橋真由美
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ（行政法）	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ（行政法）	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ（民法）	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ（民法）	3	春秋	佐藤岩昭
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ（民法）	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ（民法）	3		

選択科目 (3年次生以上)			単位	必修科目 (4年次生)			単位	開講期	担当者
ナンバリング	科目コード	授業科目名		ナンバリング	科目コード	授業科目名			
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(民法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(民法)	3	休講	羽生香織
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(民法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(民法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(民法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(民法)	3	春秋	伊藤栄寿
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(民法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(民法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(民法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(民法)	3	春秋	大塚智見
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(民法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(民法)	3		
LAW405-30j00	347005	選択演習A(民法)	2					春秋	小山泰史
LAW406-30j00	347006	選択演習B(民法)	2						
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(民事訴訟法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(民事訴訟法)	3	春秋	安西明子
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(民事訴訟法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(民事訴訟法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(商法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(商法)	3	休講	伊藤雄司
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(商法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(商法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(商法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(商法)	3	春秋	梅村悠
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(商法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(商法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(労働法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(労働法)	3	休講	富永晃一
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(労働法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(労働法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(社会保障法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(社会保障法)	3	春秋	永野仁美
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(社会保障法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(社会保障法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(知的財産権法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(知的財産権法)	3	春秋	駒田泰土
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(知的財産権法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(知的財産権法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(経済法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(経済法)	3	春秋	楠茂樹
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(経済法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(経済法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(刑法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(刑法)	3	春秋	伊藤涉
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(刑法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(刑法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(刑法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(刑法)	3	春秋	照沼亮介
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(刑法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(刑法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(刑法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(刑法)	3	春秋	佐藤結美
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(刑法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(刑法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(刑事訴訟法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(刑事訴訟法)	3	春秋	長沼範良
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(刑事訴訟法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(刑事訴訟法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(政治学)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(政治学)	3	休講	加藤浩三
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(政治学)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(政治学)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(行政学)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(行政学)	3	春秋	三浦まり
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(行政学)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(行政学)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際政治学)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際政治学)	3	春秋	岡部みどり
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際政治学)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際政治学)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際法)	3	春秋	江藤淳一
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際法)	3	春秋	兼原敦子
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際環境法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際環境法)	3	休講	堀口健夫
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際環境法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際環境法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際経済法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際経済法)	3	春秋	川瀬剛志
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際経済法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際経済法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(外国法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(外国法)	3	休講	
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(外国法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(外国法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(西洋法制史)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(西洋法制史)	3	春秋	松本尚子
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(西洋法制史)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(西洋法制史)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(法哲学)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(法哲学)	3	春秋	奥田純一郎
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(法哲学)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(法哲学)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際私法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際私法)	3	休講	出口耕自
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際私法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際私法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(国際取引法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(国際取引法)	3	春秋	森下哲朗
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(国際取引法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(国際取引法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(環境法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(環境法)	3	春秋	北村喜宣
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(環境法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(環境法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(環境法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(環境法)	3	春秋	桑原勇進
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(環境法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(環境法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(企業環境法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(企業環境法)	3	春秋	筑紫圭一
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(企業環境法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(企業環境法)	3		
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ(行政環境法)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ(行政環境法)	3	春秋	越智敏裕
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ(行政環境法)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ(行政環境法)	3		

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

選択科目 (3年次生以上)			単 位	必修科目 (4年次生)			単 位	開 講 期	担 当 者
ナンバリング	科目 コード	授業科目名		ナンバリング	科目 コード	授業科目名			
LAW402-30j00	347001	選択演習Ⅰ (AMERICAN LAW AND POLITICS)	3	LAW401-30j00	347003	必修演習Ⅲ (AMERICAN LAW AND POLITICS)	3 3	休講	
LAW403-30j00	347002	選択演習Ⅱ (AMERICAN LAW AND POLITICS)	3	LAW404-30j00	347004	必修演習Ⅳ (AMERICAN LAW AND POLITICS)			

<2019年度以降の入学対象>

- ①在学期間（休学期間を除く）が2年以上の法学部生のみ、履修を認める。
- ②「選択演習」は、3年次以降の選択科目であり、春学期開講「選択演習A」、秋学期開講「選択演習B」（各2単位）となる。
- ③「必修演習」は、4年時の必修科目であり、春学期開講「必修演習Ⅰ」、秋学期開講「必修演習Ⅱ」（各2単位）となる。
- ④これらの科目の取扱いについては、当該年次に際して指示する。

5. 早期卒業制度について

- ①早期卒業とは、在学期間が3年以上あり、所定の手続を経て、3年次終了時または4年次春学期の終了時をもって卒業することをいう（以下では、それぞれ3年次3月卒業または、4年次9月卒業という）。
- ②早期卒業をするためには、次の要件をすべて満たしていなければならない。
 - 1)本人が早期卒業を希望していること。
 - 2)卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること。
 - 3)修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下では、「GPA」という）が3.5以上であること。
- ③早期卒業をするためには早期卒業登録が必要になるが、その取扱いは次のとおりである。
 - a) 早期卒業登録をするためには、2年次終了時において、次の要件を満たしていること。
 - イ) 卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる修得済み総単位数が80単位以上（本学で修得した単位を62単位以上含む）である。
 - ロ) 修得済み総単位数に対するGPAが3.2以上である。
 - b)早期卒業登録にあたっては、下記の別表の提出期間内に「早期卒業登録申請書」（法学部事務室で配付）を法学部事務室（2号館12階）に提出する。その際には、みずからが所属することとなる必修演習科目の教員（以下では、「指導教員」という）の承認印を得ること。
 - c)早期卒業するためには、本来4年次に履修する「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」を3年次に履修しなければならないので、毎年秋学期に開催される「演習説明会」に2年次に出席し、その指示に従って手続をする必要がある（2019年度以降の入学者については、3年次以降に履修対象となる演習科目をもって充当する）。
- ④早期卒業登録をおこなった後でも次の手続により、卒業時期の変更、早期卒業登録の取消のいずれかを申請することができる。そのための提出書類は、法学部事務室で受け取る。
 - a)卒業時期の変更は、3年次3月卒業から4年次9月卒業への変更のみに限られる。この場合は、早期卒業変更届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に学科長（法学部事務室）に提出すること。
 - b)早期卒業登録の取消は、早期卒業取消届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に法学部事務室を通じて学科長まで届け出ること。
 - c)早期卒業を取り消した場合、3年次に履修した「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」は、そのまま卒業単位として認められる。「必修演習（6単位）」の単位を取得した3年次生は、4年次にこれらの科目を履修することはできない。早期卒業に至らなかった場合も、これに準じて取り扱う。

[別表]

提出書類	提出期間
早期卒業登録申請書	2020年3月30日～4月3日
早期卒業変更届出書 (*変更希望者のみ)	2020年9月21日～9月29日 (秋学期履修登録期間)
早期卒業取消届出書 (*取消希望者のみ)	3月卒業の取消 → 3年次秋学期履修中止申請期間 (2020年11月30日～12月4日)
	4年次9月卒業の取消 → 4年次春学期履修中止申請期間 (2020年6月15日～6月19日)

6. コースAQUILAについて (2020年度4月現在におけるコースAQUILAの全登録生に適用する)

法学部では、2014年次以降の法学部学生に対してAQUILAコースを設置している。国際関係法学科所属の学生については希望者全員に登録を認める(登録時期は1年次生の10月, 2年次生以降は4月, 10月)。法律学科, 地球環境法学科所属の学生については, 登録時期の直近においてGPA2.8以上のスコアを獲得した者について, (学科長等による面接等を経て) コースAQUILAへの参加を許可することがある(登録時期は2年次生以降の4月, 10月)。詳しくは法学部事務室に問い合わせること。「開講科目担当表」上, 「授業科目名」が英語で表記されているものは, コースAQUILA認定対象科目である。これらの科目は法学部生であれば誰でも履修できるが, 一部の科目は定員制限があり, 定員超過の場合はAQUILA登録者が優先される。定員制限のある科目は, 開講科目担当表の「備考」欄にそれぞれ明記しているので, 注意すること。

また, 法学部の海外短期研修(下記8参照)も, 所定の募集人数を超えた場合はコースAQUILA登録者が優先される。

- ①コースAQUILAの登録をおこなった場合は, 下記の科目群(以下では, 「コースAQUILA科目」という)から10単位以上履修する必要があり, そのうち10単位分の平均GPAが3.0以上であればコースAQUILAの修了認定証が授与される。なお, コースAQUILA科目から12単位以上取得した場合の平均GPAは, 成績の良い10単位分から算出する。**ただし, コース登録時より前に履修した単位は, コース認定対象科目としては認められない**(卒業単位としては認められる)。

コース認定対象科目群	※隔年開講科目
LEGAL WRITING LAW AND SOCIETY INTRODUCTION TO US LAW (CONSTITUTION) I・II (~2019年度) JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I ※ (~2019年度) JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II ※ NEGOTIATION WORKSHOP CONTRACTS CORPORATIONS TORTS※ PROPERTY※ INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES※ HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS) (E/日) ※ INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW) (E/日) ※ GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR (E/日) ※ COMPARATIVE LAW SEMINAR (E/日) PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I・II COMPARATIVE POLITICS INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW INTRODUCTION TO THE COMMON LAW JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVES I	
<ul style="list-style-type: none"> ・(E/日)とは, (English/日本語)つまり教材はすべて英語, 授業中の使用言語は日本語の授業を意味する。それ以外の科目は, 教材も授業中の使用言語も英語。 ・コース AQUILA 科目の受講にあたっては, TOEFL (PBT) :530, TOEFL (iBT) :71 相当の英語力があることが望ましい。 ・SEMINAR は原則として定員 30 名とする。定員超過の場合は, コース AQUILA 登録者を優先する。 	

②コース登録に関しては、適宜Loyolaにてアナウンスするので、希望者は必ずチェックすること。

③コースAQUILA登録生は、コース修了のためには、上記の①の要件（成績が良い順の10単位分についてGPA3.0以上）に加えて、コース登録後に以下のいずれかの要件を満たさなければならない（成績・評価は問わない）。

- 1) 「AQUILA対応科目」に指定されている「演習」の単位をとること（必修でも選択でも構わない）。当該「演習」の詳細については秋学期開催の演習説明会で説明するが、原則として「国際法」「国際私法」「国際取引法」「国際経済法」「西洋法制史」「国際政治学」「国際環境法」「AMERICAN LAW AND POLITICS」のそれはすべて対象となる。
- 2) 西オーストラリア大学への短期研修に参加して単位を獲得すること。
- 3) 上記10単位に加えて追加で4単位分のAQUILA科目単位を取得すること。
- 4) 交換留学等、海外の大学で履修し本学の単位に互換される、国際関係（法学・政治学）に関連する単位が4単位分あること。
- 5) 法学部が卒業単位として認定する英語で実施される他学部他学科科目を4単位取得し、これが上記3) または4) に相当すると判断されるものであること。
- 6) 上智大学が提供する海外研修に参加しかつ修了する場合、国際交流活動への参加・従事の実績がある場合、またはその他の学習成果・実績等がある場合で、上記のいずれかの要件に相当するものと判断されること。

〔注意〕上記4) 以降での申請を希望する場合には、その計画がコースAQUILAの修了要件となるかどうかについて事前に法学部事務室を通じてコースAQUILA担当教員に相談することを求める。なお、3) 以降については、二つ以上に跨る認定（合算）を可とする（詳しくは法学部事務室に問い合わせること）。

④コースAQUILAの修了認定証は、要件が充足された段階で授与が可能となる。希望者は法学部事務室に問い合わせること。修了見込者が所定用紙を法学部事務室に提出すると、成績が確定した段階で修了要件を満たしているか確認される。

7. 地球環境法特修コース認定について

法学部では、地球環境法特修コースの認定をおこなっており、地球環境法学科以外の法学部生もその対象となる。コース申請の資格条件を満たす者は、環境法関係の演習（「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」または「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」）の履修登録をしたうえで、演習担当教員を通して上記特修コース修了認定の申請をすることができる。詳細については、p.484を参照すること。（2019年度以降の入学者については、3年次以降に履修対象となる演習科目をもって充当する）

8. 海外短期研修科目の科目について

法学部では、下記の研修を設けている。法学を学ぶ本学の学生のために開発したオリジナル・プログラムであり、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することもできるので、積極的な参加を推奨する。

なお、研修参加の条件などの詳細については、履修要覧〔ガイド・資料編〕p.54～56を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともに、グローバル教育センターのホームページを参照すること。また、学科により履修度が異なるため、各学科の「開講科目担当表」を確認すること。

法学部の海外短期研修以外にも、本学の海外協定校等（p.93参照）で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができるので、あらかじめ法学部事務室を通じて学科長と相談されたい。

・海外短期研修（西オーストラリア大学）

9. 基礎演習Aについて

2019年度より開講されている「基礎演習」履修にあたり、以下の点に注意すること。

- ①2年次の法学部生のみ、履修を認める。
- ②履修希望者は、春学期中に演習選考の手続をおこなわなければならない。また、当該年度の履修登録の際は、必ず演習選考の結果に従っておこなうこと。
- ③演習選考の手続については、Loyolaに掲載される。

10. 法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習について

いずれの科目も、法曹コース登録生（p.453参照）を対象（優先）とした演習科目であるが、人数に余裕がある場合は、法曹コースの登録生以外の学生の履修も認められる（ただし、法曹コース生以外の学生については、履修登録に際して、Loyolaからダウンロードしたステートメントの提出を要する）。

11. 法曹コースについて（2019年次生以降対象）

①2019年次生以降の法学部生は、法曹コースに登録することができる。

法曹コースの指定科目・推奨科目・共同開講科目は下記のとおりである。

	1年次	2年次	3年次
指定科目	法学入門 憲法（基本的人権） 民法総則Ⅰ・Ⅱ	憲法（統治機構） 債権法総論Ⅰ・Ⅱ 債権法各論Ⅰ・Ⅱ 物権法 担保物権法 刑法総論 刑法各論 法解釈演習 基礎演習B（民法）（注1） 応用演習（注3）	会社法Ⅰ 民事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法 基礎演習B（商法）（注2） 必修演習（春）・（秋）（注4）
推奨科目	現代社会と法律実務 法解釈基礎	行政法総論	行政救済法
共同開講科目 （注5）			法と経済学 法社会学 スポーツ・エンタテインメント法 金融法 LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

（注1）法曹コース登録生を対象（優先）とした演習科目で、親族法・相続法の内容を少人数演習で行う。2・3年次履修可。

（注2）法曹コース登録生を対象（優先）とした演習科目で、会社法Ⅱの内容を少人数演習で行う。2・3年次履修可。

（注3）法曹コース2年次生を対象（優先）とした演習科目。

（注4）法曹コース3年次生を対象（優先）とした演習科目。

（注5）上智大学法科大学院で開講されている展開・先端科目を共同開講とし、法科大学院・法学部のいずれかでのみ単位を修得できる（2021年度から）。

②法曹コースの登録（出願）要件は、下記のとおりである（いずれも1年次秋学期終了時点）。

・修得単位数が34単位以上であること

・全科目の総合平均GPAが2.8以上であること

コース登録に関しては、登録用紙をLoyolaに掲載するので、各自プリントアウトして提出すること（登録は随時受け付けるが、1年次生は1月末までに登録用紙を提出するのが望ましい。その場合の登録の可否については、3月末までに通知する予定である）。

③法曹コース登録生については、2年次末に（4年次進級の場合には3年次末にも）成績および修得単位数等に基づき、資格継続の審査をおこなう。なお、登録の解除を希望する学生はその旨を申し出ることができる。

④以下の要件を満たす法曹コース登録生を、法曹コースを修了したものとし、早期卒業（法曹コース登録生対象）の対象とする。

・3年次に在籍していること

・法学部開講科目の総合平均GPAが3.0以上であること

・法曹コース指定科目につき、単位を修得していること

・法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること

⑤法曹コース登録生が、早期卒業（法曹コース登録生対象）ではない卒業、または、3年次から4年次の進級時に、本学の法科大学院へ飛び入学をしようとする場合においては、法曹コースを修了するためには、以下を満たす必要がある。

・法曹コース指定科目につき、単位を修得していること

・法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること

・法曹コース指定科目の5割以上がAまたはBの成績であること、ないし、法学部開講科目の総合平均GPAが2.8以上であること

⑥上記の登録、解除、コース生の指導、その他法曹コースの運営に必要な事項については、法曹コース運営委員会が所掌する。

法律学科

〔教育研究上の目的〕

法的判断枠組みの基本構造，実社会と法制度の関わりを重点的に学び，法律学の基礎的素養である問題解決能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

法律学に特有の利益調整方法や問題の発見方法を習得し，これを活用しうるような法的思考能力を備えた人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は，法の支配と公正な社会の更なる実現に向けて，次のような能力を修得した人材の養成を目的に，学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば，これらを身につけた者と認め，学位を授与します。

1. 社会におけるさまざまな問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力
2. 社会におけるさまざまな問題の法的な解決に資する提言をする能力
3. 法的な思考枠組を現実のさまざまな問題に応用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は，ディプロマ・ポリシーに沿って，次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法的な思考枠組を体得し，社会の問題を当該枠組を用いて検討する力を養うために，法律学の基本をなす憲法・民法・刑法をはじめとする実定法（法律基本科目）の講義を必修科目として配置する。
2. 問題の法的解決に資する力を養い高めるために，法律基本科目のみならず広くその他の実定法科目・基礎法学科目・隣接科目の講義を，選択必修科目または選択科目として配置する。
3. 法的な思考枠組を社会に生起する様々な問題に応用する力を養うために，少人数の演習を4年次の必修科目として（意欲ある学生のためには3年次以上での選択科目としても）配置する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

19年次生以降

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	24単位
選択必修	28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	44単位
合計	126単位

14～18年次生

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	26単位
選択必修	28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	42単位
合計	126単位

12～13年次生

全学共通科目

必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	

学科科目

必修	36単位	[学科科目としての外国語8単位を含む]
選択必修	20単位	
選択	42単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

19年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修「英語」 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	語選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)						8
	必修 (24単位)	法学入門 導入演習 憲法 (基本的人権) 民法総則 I 民法総則 II	1 1 4 2 2	憲法 (統治機構) 債権法各論 I 債権法各論 II 刑法総論	2 2 2 4		必修演習 I (注2) 必修演習 II (注2)	2 2
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (44単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111～を参照。

(注2) 2022年度より開講予定。

2. 標準配当表

15～18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科学目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位の充当できる(注2) * 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修「英語」 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科学目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科学目 (96単位)	語学選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (26単位)	法学入門 導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則I 民法総則II	1 1 4 2 2	憲法(統治機構) 債権法各論I 債権法各論II 刑法総論	2 2 2 4	必修演習III 必修演習IV		3 3
	選択必修 (20単位)	学科学目B群	学科学目B群	学科学目B群	学科学目B群	学科学目B群		
	選択 (42単位)	学科学目C群	学科学目C群	学科学目C群 (選択演習など)	学科学目C群	学科学目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111～を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修「英語」 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	語選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (26単位)	法学入門 導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則Ⅰ 民法総則Ⅱ	1 1 4 2 2	憲法(統治機構) 債権法各論Ⅰ 債権法各論Ⅱ 刑法総論	2 2 2 4	必修演習(注2)		6
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111~を参照。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

12～13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語より いずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門 導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則Ⅰ 民法総則Ⅱ	1 1 4 2 2	憲法(統治機構)(注1) 債権法各論Ⅰ 債権法各論Ⅱ 刑法総論	4 2 2 4		必修演習(注2)	6
		学科科目としての外国語 (英・ドイツ・フランス・イ スパニア・ロシア・ポルト ガル・中国・ロシア・イン ドネシア・フィリピン・ア ラビア・イタリア・ラテン・ 日本語のうち全学共通科目 としての外国語で履修する ものを除く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ 同一外国語)	4			
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 2013年次生以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降開講の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.442以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.448を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.445を参照すること。

4. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・14年次生以降

8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1～4		履修については共通編 p.111～を参照

学科科目A群（必修科目）・・・19年次生以降

24単位

14～18年次生

26単位

12～13年次生

36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	学科科目A群	330009	LAW102-30j00	法学入門	1	1Q	矢島基美	1	(注1)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律1クラスA】	1	春	安西明子	1	(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律1クラスB】	1	春	安西明子	1	(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律2クラスA】	1	春	伊藤 渉	1	(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律2クラスB】	1	春	伊藤 渉	1	(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律3クラスA】	1	春	大橋 真由美	1	(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30j00	導入演習【法律3クラスB】	1	春	大橋 真由美	1	(注1)(注2)	
		330140	PBL201-30j00	憲法（基本的人権）	4	秋	矢島基美	1		
		330161	PBL204-30j00	憲法（統治機構）	2	秋	巻 美矢紀	2	(注3)	
		330007	CVL205-30j00	民法総則Ⅰ【法律】 （自然人，物，法律行為）	2	春	大塚智見	1	国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可	
		330008	CVL206-30j00	民法総則Ⅱ【法律】 （代理，法人，期間，時効）	2	秋	大塚智見	1	国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可	
		330313	CVL201-30j00	債権法各論Ⅰ（契約）	2	春	大塚智見	2	1年次生履修不可 経済学部「民法C」と合併科目	
		330314	CVL207-30j00	債権法各論Ⅱ （事務管理，不当利得，不法行為）	2	秋	伊藤 栄 寿	2	1年次生履修不可 経済学部「民法D」と合併科目	
		330501	CRL201-30j00	刑法総論	4	春	佐藤 結 美	2		
		347003	LAW401-30j00	必修演習Ⅲ	3	春	各 教 員	4・(3)	(注1)(注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照	
		347004	LAW404-30j00	必修演習Ⅳ	3	秋	各 教 員	4・(3)	(注1)(注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照	
					学科科目としての外国語	8			1・2	13年次生以前対象

学科科目B群（選択必修科目）・・・ 20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	330171	PBL306-30j00	憲法訴訟	2	春	江藤 祥 平	3・4	(注3)
		333000	JUR302-30j00	法哲学	4	春	奥田 純一郎	3・4	
		332010	PBL202-30j00	行政法総論	4	春	小幡 純 子	2	1年次生履修不可
		335110	PBL203-30j00	行政救済法	4	秋	大橋 真由美	2	1年次生履修不可
		332133	CVL204-30j00	物権法	2	春	奥 富 晃	2	1年次生履修不可
		332102	CVL203-30j00	担保物権法	2	秋	奥 富 晃	2	1年次生履修不可
		330335	CVL208-30j00	債権法総論Ⅰ （債務不履行，弁済，責任財産の保全）	2	春	佐藤 岩 昭	2	1年次生履修不可
		330336	CVL209-30j00	債権法総論Ⅱ （債権譲渡，相続，多数当事者の債権債務関係）	2	秋	佐藤 岩 昭	2	1年次生履修不可
		332203	CVL301-30j00	親族法	2	秋	羽 生 香 織	3・4	1・2年次生履修不可
		332303	CVL302-30j00	相続法	2	秋	羽 生 香 織	3・4	1・2年次生履修不可
		332680	CRL202-30j00	刑法各論	4	秋	伊藤 渉	2	
		332405	CML303-30j00	会社法Ⅰ	4	春	*石川 真 衣	3・4	
		332406	CML304-30j00	会社法Ⅱ	4	秋	梅 村 悠	3・4	
		356104	CML308-30j00	手形・小切手法	2	春	土 田 亮	3・4	経済学部「商法Ⅱ」と合併科目
		332503	CPL302-30j00	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安西明子	3・4	
		335604	CPL303-30j00	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	*長谷部 由起子	3・4	
		332703	CRL302-30j00	刑事訴訟法	4	春	長 沼 範 良	3・4	
		332801	SCL306-30j00	労働法Ⅰ	2	1Q	富 永 晃 一	3・4	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	332802	SCL307-30j00	労働法Ⅱ	2	2Q 富永晃一	3・4		
		336021	SCL305-30j00	社会保障法Ⅰ	2	春 永野仁美	3・4		(注4)
		336022	SCL308-30j00	社会保障法Ⅱ	2	秋 永野仁美	3・4		(注4)
		339102	SCL301-30j00	経済法	4	春 楠茂樹	3・4		
		337501	POL303-30j00	現代行政学	2	秋 三浦まり	3・4		(注4)
		337502	POL204-30j00	現代日本政治論	2	春 三浦まり	2		

学科科目C群（選択科目）・・・19年次生以降
12～18年次生

44単位
42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科科目C群	330014	LAW205-30j00	基礎演習A（憲法）	2	秋 卷美矢紀	2		[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（刑法）	2	秋 照沼亮介	2		[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（経済法）	2	秋 楠茂樹	2		[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（実務家）	2	休講		2		[20名]
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（民法）	2	秋 羽生香織	2・3			法曹コース生優先（注6）
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（商法）	2	秋 土田亮	2・3			法曹コース生優先（注6） 会社法Ⅰを履修済みであることが望ましい
		333950	LAW304-30j00	法解釈演習	2	春	コーディネータ 森下哲朗 岩崎政孝 対木和夫 三好仁幹 田澤亮裕 奈津子	2		輪講 法曹コース生優先 (注6)
		347009	LAW407-30j00	応用演習	2	秋	土田亮, 岩崎政孝・他	3		法曹コース生優先（注6），輪講
		347001	LAW402-30j00	選択演習Ⅰ	3	春	各教員	3・4		(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347002	LAW403-30j00	選択演習Ⅱ	3	秋	各教員	3・4		(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347005	LAW405-30j00	選択演習A	2	春	各教員	3・4		
		347006	LAW406-30j00	選択演習B	2	秋	各教員	3・4		
		333900	LAW105-30j00	法解釈基礎	2	秋	佐藤結美	1		1年次生履修可
		330012	LAW104-30j00	現代社会と法律実務	1	2Q	コーディネータ 森下哲朗 岩崎政孝 対木和夫 三好仁幹 田澤亮裕 奈津子	1		輪講 (注1)
		339402	PBL304-30j00	比較憲法	2	春	江藤祥平	3・4		
		336602	JUR202-30j00	比較法Ⅰ	2	休講		2		隔年開講（注4）
		336603	JUR201-30j00	比較法Ⅱ	2	休講		2		隔年開講（注4）
		333411	JUR306-30j00	英米法Ⅰa	1	3Q	*岩田太	3・4		
		333412	JUR305-30j00	英米法Ⅰb	1	4Q	*岩田太	3・4		
		333413	JUR312-30j00	英米法Ⅱa	1	3Q	*岩田太	3・4		
		333414	JUR307-30j00	英米法Ⅱb	1	4Q	*岩田太	3・4		
		333513	JUR309-30j00	ドイツ法Ⅰa	1	2Q	松本尚子	3・4		(注4)
		333514	JUR310-30j00	ドイツ法Ⅰb	1	2Q	松本尚子	3・4		(注4)
		333512	JUR304-30j00	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松本尚子	3・4		(注4)
		333611	JUR311-30j00	フランス法Ⅰ	2	休講		3・4		隔年開講
		333612	JUR308-30j00	フランス法Ⅱ	2	休講		3・4		隔年開講 「フランス法Ⅰ」を修得済みであること
		336505	INL305-30j00	E U法	2	休講		3・4		隔年開講（注4）
		337011	JUR303-30j00	西洋法制史	2	春	松本尚子	3・4		
		337101	CRL303-30j00	法医学	2	春	*黒崎久仁彦	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目	単 位	開 講 期	担 当 者	年 次	外 国 語	備 考
選択科目 学科科目C群	337102	LAW301-30j00	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐藤結美 矢島基美 奥田純一郎 伊藤栄寿	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
	335202	PBL301-30j00	租税法	2	秋	*浅妻章如	3・4		隔年開講
	335250	PBL302-30j00	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講
	311200	CVL303-30j00	消費者法	2	休講		3・4		隔年開講 1・2年次生履修不可
	335305	CML305-30j00	商取引法	2	春	*石田清彦	3・4		
	335401	CML306-30j00	保険法	2	休講		3・4		
	335503	CML307-30j00	海商法	2	休講		3・4		隔年開講
	335627	CPL301-30j00	民事執行・保全法	2	秋	安西明子	3・4		
	336910	CPL304-30j00	倒産処理法	2	春	田頭章一	3・4		
	335703	CRL203-30j00	刑事学・刑事政策	2	秋	*金光旭	2・3		
	333520	CRL304-30j00	経済刑法	2	休講		3・4		隔年開講
	335811	SCL302-30j00	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4		隔年開講 (注4)
	335813	SCL303-30j00	知的財産権法Ⅱ	2	春	駒田泰士	3・4		隔年開講 (注4)
	333304	SCL304-30e00	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒田泰士	3・4	○	隔年開講 (注1) A
	332910	INL201-30j00	国際法総論	4	春	兼原敦子	2		
	336311	INL202-30j00	国際法各論	2	秋	兼原敦子	2		
	336405	INL301-30j00	国際紛争処理法	2	秋	江藤淳一	3・4		
	345015	INL303-30j00	国際組織法	2	春	*立松美也子	3・4		隔年開講 (注4)
	366405	LAW303-30m00	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
	336203	PIL302-30j00	国際私法	2	秋	出口耕自	3・4		(注4)
	333308	PIL309-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	出口耕自	3・4	○	(注1) A
	333309	PIL310-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	出口耕自	3・4	○	(注1) A
	361601	PIL311-30j00	国際取引法総論	2	春	森下哲朗	3・4		(注4)
	361602	PIL312-30j00	国際取引法各論	2	秋	森下哲朗	3・4		(注4)
	340100	INL302-30j00	国際経済法	4	春	川瀬剛志	3・4		1・2年次生履修不可
	340601	PBL303-30j00	国際租税法	2	休講		3・4		隔年開講
	333181	POL201-30j00	政治学	4	休講		2		
	333303	POL203-30j00	比較政治論	2	春	*網谷龍介	3・4		
	333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	春	*BRAZZILL Marc	3・4	○	A
	310402	POL301-30j00	規制と政治	2	春	*古屋将太	3・4		
	338001	POL202-30j00	国際政治学	4	春	岡部みどり	2		
	390400	POL306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	A
	390305	LAW202-30e00	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森下哲朗 *TOTH Gregory	1~4	○	輪講 A
	390304	LAW203-30e00	LAW AND SOCIETY	2	春	FISHER James	2~4	○	(注4) A
	390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVES I	2	春	FISHER James	2~4	○	A
	390383	LAW201-30e00	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2~4	○	(注1) (注4) A
	390310	INL306-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
	390311	INL307-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
	333307	POL308-30e00	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡部みどり	3・4	○	A
	337503	POL304-30e00	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦まり	3・4	○	(注5) A
	338010	POL307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原真子	3・4	○	A

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目	単 位	開 講 期	担当者	年次	外 国 語	備考	
選択科目 学科科目C群	361110	PIL308-30e00	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	休講		3・4	○	[A]	
	390323	PIL204-30e00	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	休講		2～4	○	[30名] コースAQUILA登録者優先 [A]	
	390340	PIL306-30e00	CONTRACTS	2	春	FISHER James	2～4	○	[A]	
	390350	PIL304-30e00	CORPORATIONS	2	秋	FISHER James	2～4	○	[A]	
	390360	PIL305-30e00	TORTS	2	休講		2～4	○	隔年開講 [A]	
	390370	PIL307-30e00	PROPERTY	2	休講		2～4	○	隔年開講 [A]	
	390390	PIL203-30e00	NEGOTIATION WORKSHOP	2	春	森 下 哲 朗 FISHER James	2～4	○	同時担当 [A]	
	366406	LAW302-30m00	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和 仁 亮 裕	3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) [A]	
	390384	PIL205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	秋	FISHER James			○	[A]
	390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	秋	FISHER James			○	[A]
	333800	PIL303-30j00	アジア法	2	秋	*森 口 聡	3・4			
	310201	ENL202-30j00	環境法入門	2	春	コーディネータ 越 智 敏 裕 北 村 喜 宣 桑 原 勇 進 梅 村 悠 筑 紫 圭 一 大 橋 真由美	1			輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注4)
	341301	ENL204-30j00	環境法総論	2	秋	大 橋 真由美	1			(注4)
	310701	ENL203-30j00	環境法各論	2	春	北 村 喜 宣	2			(注4)
	341103	ENL206-30j00	環境訴訟法 I	2	春	越 智 敏 裕	2			隔年開講 (注4)
	341104	ENL205-30j00	環境訴訟法 II	2	休講		2			隔年開講 (注4)
	311102	ENL207-30j00	エネルギーと法	2	春	*丸 山 真 弘	2			(注4)
	311001	ENL304-30j00	自治体環境法	2	秋	北 村 喜 宣	3・4			
	341501	ENL306-30j00	廃棄物・リサイクル法	2	春	筑 紫 圭 一	3・4			隔年開講 (注4)
	341400	ENL302-30j00	企業環境法	2	休講		3・4			隔年開講
	311800	ENL301-30j00	企業環境マネジメント論	2	春	*稲 見 浩 之・他	3・4			輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
	310800	ENL303-30j00	自然保護法	2	春	桑 原 勇 進	3・4			
	341722	ENL310-30j00	まちづくりと法	2	秋	越 智 敏 裕	3・4			隔年開講
	341600	ENL201-30j00	比較環境法	2	秋	桑 原 勇 進	2			
	341720	ENL208-30j00	環境社会学	2	秋	*藤 井 紘 司	2			
	341001	ENL307-30j00	国際環境法	2	秋	堀 口 健 夫	3・4			
	310900	ENL308-30j00	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真 美	3・4			隔年開講
	311901	ENL311-30j00	アメリカ環境法	2	秋	筑 紫 圭 一	3・4			
	312200	ENL305-30j00	アジア環境法	2	休講		3・4			隔年開講
	312100	ENL312-30j00	地球温暖化と法	2	秋	堀 口 健 夫	3・4			隔年開講
	311700	CRL301-30j00	環境刑法	2	秋	*今 井 康 介	3・4			隔年開講
	342904	PBL305-30j00	法律学特殊講義 I (立法過程の実務と理論)	2	春	*伊 藤 和 子	3・4			
	342914	CML301-30j00	法律学特殊講義 II (信託法)	2	春	*杉 浦 宣 彦	3・4			
	342924	JUR301-30j00	法律学特殊講義 III (法思想史)	2	秋	奥 田 純 一 郎	3・4			
	342941	CML302-30j00	法律学特殊講義 IV (金融商品取引法)	2	春	梅 村 悠	3・4			隔年開講
	345027	INL304-30j00	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱 本 幸 也	3・4			(注4)
344808	POL302-30j00	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊 志 輝	3・4			[200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	311300	ENL309-30j00	2	秋	コーディネータ 越智敏裕 *竹澤克己 *花澤俊之 *高橋大祐	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年生優先 (注4)
		311427	ENL313-30j00	2	休講		3・4		隔年開講

A…コース AQUILA 認定対象科目

(E/日) …教材=英語/使用言語=日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、前年度と同じクラスのAを履修すること。

(注3) 2013年次生以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降開講の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注4) 科目名の変更にもなう重複不可の科目があるため、p.444~参照のこと。

(注5) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

(注6) 法曹コース生以外の希望者は Loyola からダウンロードしたステートメントの提出が必要。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	N99219	SAC201-30e00	4	秋	国際関係法学科教員	1~3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続きが翌年度におこなわれるため、2021年3月卒業予定者はプログラムには参加することができるが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、p.93 並びに履修要覧〔ガイド・資料編〕(p.54~56)を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院) との3+2プログラム単位互換科目

履修度	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○ (注1) (注2) (注3)

(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院(以下GI)の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

(注2) GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。

(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認をすること。

国際関係法学科

〔教育研究上の目的〕

法学・政治学を基礎とした国際関係の分析力とともに、国際舞台で不可欠な語学力や幅広い教養を身につけさせること

〔人材養成の目的〕

国連職員や外交官，その他一般企業において国際性ある職域をめざす者，国際的，渉外的な法律実務を考える者，さらに活発化する国際学術交流に貢献する研究者を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、人権の普遍性及び各国主権の平等並びに地域多様性を尊重する国際社会の構築に向けて、次のような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 国際社会の諸問題に対して幅広い関心を持ち、それらを考察するうえで必要な知識を自力で探査・獲得する能力
2. 国際社会の諸問題について法的及び政治学的思考力を基礎とした分析する能力
3. 世界における各地域の特殊性を理解し、異なる法文化及び政治文化を背景とした諸々の規範に適応する能力
4. 国際的な舞台で、最先端の法的及び政治学的知識を活用しながらみずからの考えを的確に伝達する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法学及び政治学のリテラシーを身につけ、与えられた問題を法的及び政治学的に設定し考察するための基礎的な方法論を修得させる。
2. 国際社会の諸問題を考察するうえで足がかりとなる国内法及び国内政治の理論並びに国際関係法及び国際政治学の理論を体系的に学習させ、理解を深める。
3. 少人数の演習形式の授業の中で、身につけた理論と方法を国際社会の具体的な問題に応用し、その解決に向けた提言を模索する。
4. 各自の問題意識に基づいて設定した課題に係る研究の成果を、国際的な舞台で発信できる力を養成する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

19年次生以降

全学共通科目

- 必修 2単位 [体育2単位]
- 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

- 必修 25単位
- 選択必修 28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
- 選択 44単位

- 合計 127単位

18年次生以前

全学共通科目

- 必修 2単位 [体育2単位]
- 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- 選択 20単位 (高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

- 必修 27単位
- 選択必修 28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
- 選択 42単位

- 合計 127単位

2. 標準配当表

19年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修(英語) (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (25単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2		必修演習Ⅰ(注2)	2
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2		必修演習Ⅱ(注2)	2
		英語導入演習	1	債権法各論Ⅱ	2			
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4				
民法総則Ⅰ		2						
民法総則Ⅱ	2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (44単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、p.111~を参照。

(注2) 2022年度より開講予定。

15～18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 [英語] (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	選択必修 語学科目 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (27単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習Ⅲ	3
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			必修演習Ⅳ	3
		英語導入演習	1	債権法各論Ⅱ	2				
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4					
民法総則Ⅰ		2							
民法総則Ⅱ	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、p.111～を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) [英語]	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	語学選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (27単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習(注2)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2				
		英語導入演習	1	債権法各論Ⅱ	2				
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4					
民法総則Ⅰ		2							
民法総則Ⅱ		2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、p.111~を参照。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.442以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.448～を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.445を参照すること。

5. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1~4		履修については共通編p.111~を参照

学科科目A群（必修科目）・・・19年次生以降 25単位 18年次生以前 27単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科科目A群	330009	LAW102-30j00	法学入門	1	1Q	矢島基美	1	(注1)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【国関1クラスA】	1	春	楠茂樹	1	(注1)(注2)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【国関1クラスB】	1	春	楠茂樹	1	(注1)(注2)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【国関2クラスA】	1	春	江藤祥平	1	(注1)(注2)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【国関2クラスB】	1	春	江藤祥平	1	(注1)(注2)
		330011	LAW103-30m00	英語導入演習【国関Aクラス(E/E)】	1	秋	FISHER James	1	○(注1)(注2)
		330011	LAW103-30m00	英語導入演習【国関Bクラス(E/日)】	1	秋	FISHER James	1	(注1)(注2)(E/日)
		330011	LAW103-30m00	英語導入演習【国関Cクラス(E/日)】	1	秋	出口耕自	1	(注1)(注2)(E/日)
		330011	LAW103-30m00	英語導入演習【国関Dクラス(E/日)】	1	秋	出口耕自	1	(注1)(注2)(E/日)
		330140	PBL201-30j00	憲法（基本的人権）	4	秋	矢島基美	1	
		330161	PBL204-30j00	憲法（統治機構）	2	秋	巻美矢紀	2	
		330007	CVL205-30j00	民法総則Ⅰ【国関・環境】 （自然人，物，法律行為）	2	春	伊藤栄寿	1	法律学科履修不可
		330008	CVL206-30j00	民法総則Ⅱ【国関・環境】 （代理，法人，期間，時効）	2	秋	伊藤栄寿	1	法律学科履修不可
		330313	CVL201-30j00	債権法各論Ⅰ（契約）	2	春	大塚智見	2	1年次生履修不可 経済学部「民法C」と合併科目
		330314	CVL207-30j00	債権法各論Ⅱ （事務管理，不当利得，不法行為）	2	秋	伊藤栄寿	2	1年次生履修不可 経済学部「民法D」と合併科目
		332910	INL201-30j00	国際法総論	4	春	兼原敦子	2	
		347003	LAW401-30j00	必修演習Ⅲ	3	春	各教員	4・(3)	(注1)(注3) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347004	LAW404-30j00	必修演習Ⅳ	3	秋	各教員	4・(3)	(注1)(注3) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照

学科科目B群（選択必修科目）・・・20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	333000	JUR302-30j00	法哲学	4	春	奥田純一郎	3・4	
		336311	INL202-30j00	国際法各論	2	秋	兼原敦子	2	
		336405	INL301-30j00	国際紛争処理法	2	秋	江藤淳一	3・4	
		336203	PIL302-30j00	国際私法	2	秋	出口耕自	3・4	(注3)
		333308	PIL309-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	出口耕自	3・4	○(注1) [A]
		333309	PIL310-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	出口耕自	3・4	○(注1) [A]
		361601	PIL311-30j00	国際取引法総論	2	春	森下哲朗	3・4	(注3)
		361602	PIL312-30j00	国際取引法各論	2	秋	森下哲朗	3・4	(注3)
		333411	JUR306-30j00	英米法Ⅰa	1	3Q	*岩田太	3・4	
		333412	JUR305-30j00	英米法Ⅰb	1	4Q	*岩田太	3・4	
		333413	JUR312-30j00	英米法Ⅱa	1	3Q	*岩田太	3・4	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	333414	JUR307-30j00	英米法Ⅱb	1	4Q	*岩田 太	3・4	
		333513	JUR309-30j00	ドイツ法Ⅰa	1	2Q	松本 尚子	3・4	(注3)
		333514	JUR310-30j00	ドイツ法Ⅰb	1	2Q	松本 尚子	3・4	(注3)
		333512	JUR304-30j00	ドイツ法Ⅱ	2	秋	松本 尚子	3・4	(注3)
		333611	JUR311-30j00	フランス法Ⅰ	2	休講		3・4	隔年開講
		333612	JUR308-30j00	フランス法Ⅱ	2	休講		3・4	隔年開講 「フランス法Ⅰ」を修得済みであること
		339402	PBL304-30j00	比較憲法	2	春	江藤 祥平	3・4	
		336602	JUR202-30j00	比較法Ⅰ	2	休講		2	隔年開講 (注3)
		336603	JUR201-30j00	比較法Ⅱ	2	休講		2	隔年開講 (注3)
		366406	LAW302-30m00	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和仁 亮裕	3・4	隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
		336505	INL305-30j00	E U 法	2	休講		3・4	隔年開講 (注3)
		341001	ENL307-30j00	国際環境法	2	秋	堀口 健夫	3・4	
		340100	INL302-30j00	国際経済法	4	春	川瀬 剛志	3・4	1・2年次生履修不可
		335811	SCL302-30j00	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4	隔年開講 (注3)
		335813	SCL303-30j00	知的財産権法Ⅱ	2	春	駒田 泰土	3・4	隔年開講 (注3)
		333304	SCL304-30e00	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒田 泰土	3・4	○ 隔年開講 (注1) A
		390305	LAW202-30e00	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森下 哲朗 *TOTH Gregory	1~4	○ 輪講 A
		390304	LAW203-30e00	LAW AND SOCIETY	2	春	FISHER James	2~4	○ A (注3)
		390310	INL306-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4	隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
		390311	INL307-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤 淳一	3・4	隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) A
		333307	POL308-30e00	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡部 みどり	3・4	○ A
		338001	POL202-30j00	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2	
		333181	POL201-30j00	政治学	4	休講		2	
		337502	POL204-30j00	現代日本政治論	2	春	三浦 まり	2	
		337503	POL304-30e00	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦 まり	3・4	○ (注4) A
		390340	PIL306-30e00	CONTRACTS	2	春	FISHER James	2~4	○ A
		390350	PIL304-30e00	CORPORATIONS	2	秋	FISHER James	2~4	○ A
		390360	PIL305-30e00	TORTS	2	休講		2~4	○ 隔年開講 A
		390370	PIL307-30e00	PROPERTY	2	休講		2~4	○ 隔年開講 A
		366405	LAW303-30m00	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4	隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
		390384	PIL205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	秋	FISHER James		○ A
		390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	秋	FISHER James		○ A

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

学科科目C群（選択科目）・・・19年次生以降
18年次生以前

44単位

42単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科科目C群	330014	LAW205-30j00	基礎演習A（憲法）	2	秋	巻 美 矢 紀	2	[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（刑法）	2	秋	照 沼 亮 介	2	[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（経済法）	2	秋	楠 茂 樹	2	[20名]	
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（実務家）	2	休講		2	[20名]	
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（民法）	2	秋	羽 生 香 織	2・3		法曹コース生優先（注5）
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（商法）	2	秋	土 田 亮	2・3		法曹コース生優先（注5） 会社法Iを履修済みであることが望ましい
		333950	LAW304-30j00	法解釈演習	2	春	コーディネータ 森 下 哲 朗 岩 崎 政 孝 対 木 和 夫 和 仁 亮 裕 三 好 幹 夫 田 澤 奈 津 子	2		輪講 法曹コース生優先 （注5）
		347009	LAW407-30j00	応用演習	2	秋	土田亮, 岩崎正孝・他	3		法曹コース生優先（注5），輪講
		347001	LAW402-30j00	選択演習 I	3	春	各 教 員	3・4		（注1）（注3） 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347002	LAW403-30j00	選択演習 II	3	秋	各 教 員	3・4		（注1）（注3） 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347005	LAW405-30j00	選択演習A	2	春	各 教 員	3・4		
		347006	LAW406-30j00	選択演習B	2	秋	各 教 員	3・4		
		333900	LAW105-30j00	法解釈基礎	2	秋	佐 藤 結 美	1		1年次生履修可
		330012	LAW104-30j00	現代社会と法律実務	1	2Q	コーディネータ 森 下 哲 朗 岩 崎 政 孝 対 木 和 夫 三 好 幹 夫 和 仁 亮 裕 田 澤 奈 津 子	1		輪講 （注1）
		337011	JUR303-30j00	西洋法制史	2	春	松 本 尚 子	3・4		
		337101	CRL303-30j00	法医学	2	春	*黒 崎 久 仁 彦	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先
		337102	LAW301-30j00	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐 藤 結 美 矢 島 基 美 奥 田 純 一 郎 伊 藤 栄 寿	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
		330171	PBL306-30j00	憲法訴訟	2	春	江 藤 祥 平	3・4		
		332010	PBL202-30j00	行政法総論	4	春	小 幡 純 子	2		1年次生履修不可
		335202	PBL301-30j00	租税法	2	秋	*浅 妻 章 如	3・4		隔年開講
		335250	PBL302-30j00	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講
		332801	SCL306-30j00	労働法 I	2	1Q	富 永 晃 一	3・4		
		332802	SCL307-30j00	労働法 II	2	2Q	富 永 晃 一	3・4		
		336021	SCL305-30j00	社会保障法 I	2	春	永 野 仁 美	3・4		（注3）
		336022	SCL308-30j00	社会保障法 II	2	秋	永 野 仁 美	3・4		（注3）
		335110	PBL203-30j00	行政救済法	4	秋	大 橋 真 由 美	2		1年次生履修不可
		311200	CVL303-30j00	消費者法	2	休講		3・4		隔年開講 1・2年次生履修不可
		332405	CML303-30j00	会社法 I	4	春	*石 川 真 衣	3・4		
		332406	CML304-30j00	会社法 II	4	秋	梅 村 悠	3・4		
		356104	CML308-30j00	手形・小切手法	2	春	土 田 亮	3・4		経済学部「商法II」と合併科目
		335305	CML305-30j00	商取引法	2	春	*石 田 清 彦	3・4		
		335401	CML306-30j00	保険法	2	休講		3・4		
		335503	CML307-30j00	海商法	2	休講		3・4		隔年開講
		332133	CVL204-30j00	物権法	2	春	奥 富 晃	2		1年次生履修不可
		332102	CVL203-30j00	担保物権法	2	秋	奥 富 晃	2		1年次生履修不可

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
選択科目	学科科目C群	330335	CVL208-30j00	債権法総論Ⅰ (債務不履行, 弁済, 責任財産の保全)	2	春	佐藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
		330336	CVL209-30j00	債権法総論Ⅱ (債権譲渡, 相続, 多数当事者の債権債務関係)	2	秋	佐藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
		332503	CPL302-30j00	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安西 明 子	3・4		
		335604	CPL303-30j00	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	*長谷部 由起子	3・4		
		332203	CVL301-30j00	親族法	2	秋	羽生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
		332303	CVL302-30j00	相続法	2	秋	羽生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
		335627	CPL301-30j00	民事執行・保全法	2	秋	安西 明 子	3・4		
		336910	CPL304-30j00	倒産処理法	2	春	田頭 章 一	3・4		
		330501	CRL201-30j00	刑法総論	4	春	佐藤 結 美	2		
		332680	CRL202-30j00	刑法各論	4	秋	伊藤 涉	2		
		332703	CRL302-30j00	刑事訴訟法	4	春	長沼 範 良	3・4		
		335703	CRL203-30j00	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光 旭	2・3		
		333520	CRL304-30j00	経済刑法	2	休講		3・4		隔年開講
		339102	SCL301-30j00	経済法	4	春	楠 茂 樹	3・4		
		340601	PBL303-30j00	国際租税法	2	休講		3・4		隔年開講
		333800	PIL303-30j00	アジア法	2	秋	*森 口 聡	3・4		
		345015	INL303-30j00	国際組織法	2	春	*立松 美也子	3・4		隔年開講 (注3)
		390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVES I	2	春	FISHER James	2~4	○	[A]
		390383	LAW201-30e00	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2~4	○	(注1) (注3) [A]
		361110	PIL308-30e00	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	休講		3・4	○	[A]
		390323	PIL204-30e00	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	休講		2~4	○	[30名] コースAQUILA登録者優先 [A]
		390390	PIL203-30e00	NEGOTIATION WORKSHOP	2	春	森下 哲 朗 FISHER James	2~4	○	同時担当 [A]
		333303	POL203-30j00	比較政治論	2	春	*網谷 龍 介	3・4		
		333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	春	*BRAZZILL Marc	3・4	○	[A]
		337501	POL303-30j00	現代行政学	2	秋	三浦 ま り	3・4		(注3)
		310402	POL301-30j00	規制と政治	2	春	*古屋 将 太	3・4		
		310201	ENL202-30j00	環境法入門	2	春	コーディネータ 越智 敏 裕 北村 喜 宣 桑原 勇 進 梅村 悠 筑紫 圭 一 大橋 真由美	1		輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注3)
		341301	ENL204-30j00	環境法総論	2	秋	大橋 真由美	1		(注3)
		310701	ENL203-30j00	環境法各論	2	春	北村 喜 宣	2		(注3)
		341103	ENL206-30j00	環境訴訟法Ⅰ	2	春	越智 敏 裕	2		隔年開講 (注3)
		341104	ENL205-30j00	環境訴訟法Ⅱ	2	休講		2		隔年開講 (注3)
		311102	ENL207-30j00	エネルギーと法	2	春	*丸山 真 弘	2		(注3)
		311001	ENL304-30j00	自治体環境法	2	秋	北村 喜 宣	3・4		
		341501	ENL306-30j00	廃棄物・リサイクル法	2	春	筑紫 圭 一	3・4		隔年開講 (注3)
		341400	ENL302-30j00	企業環境法	2	休講		3・4		隔年開講
		311800	ENL301-30j00	企業環境マネジメント論	2	春	*稲見 浩之・他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
		310800	ENL303-30j00	自然保護法	2	春	桑原 勇 進	3・4		
		341722	ENL310-30j00	まちづくりと法	2	秋	越智 敏 裕	3・4		隔年開講
		341600	ENL201-30j00	比較環境法	2	秋	桑原 勇 進	2		
		341720	ENL208-30j00	環境社会学	2	秋	*藤井 紘 司	2		
		310900	ENL308-30j00	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真 美	3・4		隔年開講
		311901	ENL311-30j00	アメリカ環境法	2	秋	筑紫 圭 一	3・4		
		312200	ENL305-30j00	アジア環境法	2	休講		3・4		隔年開講
		312100	ENL312-30j00	地球温暖化と法	2	秋	堀口 健 夫	3・4		隔年開講
		311700	CRL301-30j00	環境刑法	2	秋	*今井 康 介	3・4		隔年開講
		342904	PBL305-30j00	法律学特殊講義Ⅰ (立法過程の実務と理論)	2	春	*伊藤 和 子	3・4		

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	342914	CML301-30j00	法律学特殊講義Ⅱ (信託法)	2	春	*杉浦 宣彦	3・4		
	342924	JUR301-30j00	法律学特殊講義Ⅲ (法思想史)	2	秋	奥田 純一郎	3・4		
	342941	CML302-30j00	法律学特殊講義Ⅳ (金融商品取引法)	2	春	梅村 悠	3・4		隔年開講
	345027	INL304-30j00	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱本 幸也	3・4		(注3)
	338010	POL307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	○	[A]
	390400	POL306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	[A]
	344808	POL302-30j00	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊 志輝	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先 (注3)
	311300	ENL309-30j00	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	秋	コーディネータ 越智 敏裕 *竹澤 克己 *花澤 俊之 *高橋 大祐	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先 (注3)
	311427	ENL313-30j00	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	休講		3・4		隔年開講

[A] … コース AQUILA 認定対象科目

(E/日) … 教材=英語/使用言語=日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、前年度と同じクラスのAを履修すること。

(注3) 科目名の変更ともなう重複不可の科目があるため、p.444～参照のこと。

(注4) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

(注5) 法曹コース生以外の希望者は Loyola からダウンロードしたステートメントの提出が必要。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 学科科目B群	N99219	SAC201-30e00	海外短期研修 (西オーストラリア大学)	4	秋	国際関係法学科教員	1～3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2021年3月卒業予定者はプログラムには参加することができるが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、p.93 並びに履修要覧〔ガイド・資料編〕(p.54～56)を参照したうえでグローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院)との3+2プログラム単位互換科目

履修度	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院(以下GI)の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

(注2) GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。

(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認すること。

地球環境法学科

〔教育研究上の目的〕

環境問題にかかわる世界と日本の法システムに関する素養を身につけ、環境問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

環境法研究者、企業活動に係る環境法のエキスパート、環境法の知見を有する実務家や環境NGOで活躍しうる人材、環境法の専門家として母国で活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けて、次のような資質・能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 法的な観点から環境問題を検討するため、日本の法制度に関する基本的な素養と問題解決のための思考枠組を修得し、現実の環境問題にそれを応用する能力
2. 個別の環境問題について発展しつつある日本の法制度の特徴を理解し、それぞれの問題領域の特殊性もふまえながら、適切な問題解決のあり方について考える能力
3. 環境問題に関する外国や国際社会の法制度を学び、よりグローバルな視野から問題を考える能力
4. 法学に限定されない学際的な視野から、環境問題の解決に資する今後の政策のあり方を考える能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 日本法に対する素養や思考枠組を養うため、憲法、民法といった法律基本科目について、特に基本的な講義を必修科目として提供するとともに、学生のニーズに応じて選択可能な講義を幅広く配置する。
2. 法学の知見や思考枠組を様々な環境問題に応用して考える力を養うため、日本の環境法に関わる基本的な講義を必修科目として提供するとともに、個別の環境法制度に関わる講義等を選択必修科目・選択科目として配置する。
3. 国際的な視野から発展的に問題を考える力を養うため、外国や国際社会における環境法等に関わる講義を選択必修科目・選択科目として配置する。
4. 適切な環境法政策のあり方をさらに学際的に考えるための視点を養うため、政治学、社会学等の隣接科目に関わる講義を、選択必修科目・選択科目として配置する。
5. 関連科目の理解を深めると同時に、討論・論述等の能力の向上を図り、現実の問題解決に資する思考力と発信力を養うため、1年次の導入的な科目として、また4年次の必修科目（3年次も履修可）として、少人数の演習を配置する。

1. 卒業に要する科目，単位数の最低基準

19年次生以降

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	26単位
選択必修	28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	42単位
合計	126単位

14～18年次生

全学共通科目

必修	2単位	[体育2単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	20単位	(高学年向け教養科目2単位含む)

語学科目 4単位 [英語] 必修

学科科目

必修	28単位
選択必修	28単位 (語学科目 (選択必修) 8単位を含む)
選択	40単位
合計	126単位

12～13年次生

全学共通科目

必修	10単位	[体育2単位，外国語科目8単位]
選択必修	4単位	[キリスト教人間学]
選択	16単位	

学科科目

必修	36単位	[学科科目としての外国語8単位を含む]
選択必修	20単位	
選択	42単位	
合計	128単位	

2. 標準配当表

19年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) [英語]	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (26単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習Ⅰ(注2)	2
		導入演習	1	行政法総論	4			必修演習Ⅱ(注2)	2
		憲法(基本的人権)	4	環境法各論	2				
民法総則Ⅰ		2							
民法総則Ⅱ		2							
環境法入門		2							
環境法総論	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111～を参照。

(注2) 2022年度より開講予定。

15～18年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)					高学年向け教養科目	2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位) 語学科目	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (28単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習Ⅲ	3
		導入演習	1	行政法総論	4			必修演習Ⅳ	3
		憲法(基本的人権)	4	環境法各論	2				
民法総則Ⅰ		2							
民法総則Ⅱ		2							
環境法入門	2								
環境法総論	2								
選択必修 (20単位) 語学科目	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (40単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111～を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

14年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	*学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる *語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修(英語) (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (28単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習(注2)	6
		導入演習	1	行政法総論	4				
		憲法(基本的人権)	4	環境法各論	2				
民法総則I		2							
民法総則II		2							
環境法入門		2							
環境法総論	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (40単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、p.111~を参照。

(注2) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

13年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウェルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語より いずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)(注3)	4		必修演習(注4)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			
		憲法(基本的人権)	4	債権法各論Ⅱ	2			
		民法総則Ⅰ	2					
		民法総則Ⅱ	2					
		環境と法(注1)	2					
		環境公法(注2)	2					
		学科科目としての外国語 (英・ドイツ・フランス・イスパニア・ロシア・ポルトガル・中国・コリア・インドネシア・フィリピン・アラビア・イタリア・ラテン・日本語のうち全学共通科目としての外国語で履修するものを除く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ同一外国語)	4			
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 2014年度より「環境と法」は「環境法入門」に科目名変更。

(注2) 2014年度より「環境公法」は「環境法総論」に科目名変更。

(注3) 2013年次生以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降開講の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注4) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

12年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3・4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (30単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2			
	外国語科目必修 (8単位)	英語・ドイツ語・フランス語より いずれか1か国語	4	左記のものから選んだ同一外国語	4	
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4			
	選択 (16単位)					

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (98単位)	必修 (36単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)(注1)	4		必修演習(注4)	6
		導入演習	1	債権法各論Ⅰ	2			
		憲法(基本的人権)	4	債権法各論Ⅱ	2			
民法総則Ⅰ		2	環境と法(注2)	2				
民法総則Ⅱ		2	環境公法(注3)	2				
	学科科目としての外国語 (英・ドイツ・フランス・イ スパニア・ロシア・ポルト ガル・中国・コリア・イン ドネシア・フィリピン・ア ラビア・イタリア・ラテン・ 日本語のうち全学共通科目 としての外国語で履修する ものを除く同一外国語)	4	学科科目としての外国語 (左記のものから選んだ 同一外国語)	4				
	選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群
	選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群

(注1) 2013年次生以前の「憲法(統治機構)(4単位)」未履修者は、2015年度以降開講の「憲法(統治機構)(2単位)」および「憲法訴訟(2単位)」の2科目で充当すること。

(注2) 2014年度より「環境と法」は「環境法入門」に科目名変更。

(注3) 2014年度より「環境公法」は「環境法総論」に科目名変更。

(注4) 「必修演習(6単位)」は、2015年度以降の「必修演習Ⅲ(3単位)」「必修演習Ⅳ(3単位)」で充当すること。

3. 履修上の注意

- ①履修にあたっては、あらかじめp.442以降の3学科共通の頁を必ず読むこと。
- ②「演習」については、p.448～を参照すること。
- ③選択必修科目については、卒業に必要な20単位以上修得した場合には、その単位数を超えた科目は選択科目として認められる。
- ④開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。
- ⑤科目のナンバリング
開講科目担当表に記載されたナンバリングは分野等を示すものである。ナンバリングについては、p.445を参照すること。

4. 地球環境法特修コース認定について

- ①次のイ)およびロ)の条件を満たす者は、環境法関係の演習(「選択演習Ⅰ」「選択演習Ⅱ」または「必修演習Ⅲ」「必修演習Ⅳ」)の履修登録をしたうえで、特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる。また、すでに上記の「演習」を修得している者も認定を受けることができる。
 - イ) 2年次までの必修科目をすべて単位取得し、かつ、「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」の取得単位の平均GPAが3.0以上であること
 - ロ) 下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、その取得単位の平均GPAが3.0以上であること
- ②法学部他学科生であっても、次のイ)およびロ)の条件を満たす者は、環境法関係の演習(「選択演習Ⅰ」,「選択演習Ⅱ」,「必修演習Ⅲ」,「必修演習Ⅳ」)のいずれかの履修登録をしたうえで特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる(2019年度以降の入学者については、3年次以降に履修対象となる演習科目をもって充当する)。
 - イ) 当該学科の「必修演習」を除く必修科目をすべて単位取得していること
 - ロ) 「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」および下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、その取得単位の平均GPAが3.0以上であること

《環境法関係科目》(すべて2単位)

環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ	エネルギーと法	自治体環境法	廃棄物・リサイクル法
企業環境法	自然保護法	まちづくりと法	比較環境法
環境社会学	国際環境法	ヨーロッパ環境法	アメリカ環境法
アジア環境法	地球温暖化と法	環境刑法	企業環境マネジメント論
環境法特殊講義	環境問題特殊講義		

- ③上記①・②の手続については、所定の申請書(法学部事務室で配布)に記入のうえ、「演習」担当教員を通じて地球環境法学科長に申請する。

5. 開講科目担当表

語学科目（選択必修科目）・・・14年次生以降 8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1～4		履修については共通編 p.111～を参照

学科科目A群（必修科目）・・・19年次生以降 26単位

14～18年次生 28単位

12～13年次生 36単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科科目A群	330009	LAW102-30j00	法学入門	1	10	矢島基美	1	(注1)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【環境A】	1	春	桑原勇進	1	(注1) (注2)
		330010	LAW101-30j00	導入演習【環境B】	1	春	桑原勇進	1	(注1) (注2)
		330140	PBL201-30j00	憲法（基本的人権）	4	秋	矢島基美	1	
		330161	PBL204-30j00	憲法（統治機構）	2	秋	巻美矢紀	2	(注3)
		332010	PBL202-30j00	行政法総論	4	春	小幡純子	2	1年次生履修不可 13年次生以前は選択必修科目
		330007	CVL205-30j00	民法総則Ⅰ [国関・環境] (自然人, 物, 法律行為)	2	春	伊藤栄寿	1	法律学科履修不可
		330008	CVL206-30j00	民法総則Ⅱ [国関・環境] (代理, 法人, 期間, 時効)	2	秋	伊藤栄寿	1	法律学科履修不可
		310201	ENL202-30j00	環境法入門	2	春	コーディネータ 越智敏裕 北村喜宣 桑原勇進 梅村悠一 筑紫圭一 大橋真由美	1	輪講 [200名] 地球環境法学科生優先 (注4)
		341301	ENL204-30j00	環境法総論	2	秋	大橋真由美	1	(注4)
		310701	ENL203-30j00	環境法各論	2	春	北村喜宣	2	13年次生以前は選択必修科目 (注4)
		347003	LAW401-30j00	必修演習Ⅲ	3	春	各教員	4・(3)	(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347004	LAW404-30j00	必修演習Ⅳ	3	秋	各教員	4・(3)	(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
					学科科目としての外国語	8			1・2

学科科目B群（選択必修科目）・・・ 20単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	333000	JUR302-30j00	法哲学	4	春	奥田純一郎	3・4	
		335110	PBL203-30j00	行政救済法	4	秋	大橋真由美	2	1年次生履修不可
		330313	CVL201-30j00	債権法各論Ⅰ（契約）	2	春	大塚智見	2	1年次生履修不可 経済学部「民法C」と合併科目 13年次生以前は必修科目
		330314	CVL207-30j00	債権法各論Ⅱ (事務管理, 不当利得, 不法行為)	2	秋	伊藤栄寿	2	1年次生履修不可 経済学部「民法D」と合併科目 13年次生以前は必修科目
		341103	ENL206-30j00	環境訴訟法Ⅰ	2	春	越智敏裕	2	隔年開講 (注4)
		341104	ENL205-30j00	環境訴訟法Ⅱ	2	休講		2	隔年開講 (注4)
		311102	ENL207-30j00	エネルギーと法	2	春	*丸山真弘	2	(注4)
		311001	ENL304-30j00	自治体環境法	2	秋	北村喜宣	3・4	
		341501	ENL306-30j00	廃棄物・リサイクル法	2	春	筑紫圭一	3・4	隔年開講 (注4)
		341400	ENL302-30j00	企業環境法	2	休講		3・4	隔年開講
		310800	ENL303-30j00	自然保護法	2	春	桑原勇進	3・4	
		341722	ENL310-30j00	まちづくりと法	2	秋	越智敏裕	3・4	隔年開講
		341600	ENL201-30j00	比較環境法	2	秋	桑原勇進	2	

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科科目B群	341720	ENL208-30j00	環境社会学	2	秋	*藤井 紘司	2	
		341001	ENL307-30j00	国際環境法	2	秋	堀口 健夫	3・4	
		310900	ENL308-30j00	ヨーロッパ環境法	2	秋	*奥 真美	3・4	隔年開講
		311901	ENL311-30j00	アメリカ環境法	2	秋	筑紫 圭一	3・4	
		312200	ENL305-30j00	アジア環境法	2	休講		3・4	隔年開講
		312100	ENL312-30j00	地球温暖化と法	2	秋	堀口 健夫	3・4	隔年開講
		311700	CRL301-30j00	環境刑法	2	秋	*今井 康介	3・4	隔年開講
		333520	CRL304-30j00	経済刑法	2	休講		3・4	隔年開講
		337501	POL303-30j00	現代行政学	2	秋	三浦 まり	3・4	(注4)
		337502	POL204-30j00	現代日本政治論	2	春	三浦 まり	2	
		310402	POL301-30j00	規制と政治	2	春	*古屋 将太	3・4	
		333181	POL201-30j00	政治学	4	休講		2	
		338001	POL202-30j00	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2	

学科科目C群（選択科目）・・・14～18年次生 **40単位**
12～13年次生，19年次生以降 **42単位**

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	330014	LAW205-30j00	基礎演習A（憲法）	2	秋	巻 美 矢 紀	2	[20名]
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（刑法）	2	秋	照 沼 亮 介	2	[20名]
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（経済法）	2	秋	楠 茂 樹	2	[20名]
		330014	LAW205-30j00	基礎演習A（実務家）	2	休講		2	[20名]
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（民法）	2	秋	羽 生 香 織	2・3	法曹コース生優先（注6）
		330015	LAW305-30j00	基礎演習B（商法）	2	秋	土 田 亮	2・3	法曹コース生優先（注6） 会社法Iを履修済みであることが望ましい
		333950	LAW304-30j00	法解釈演習	2	春	コーディネータ 森 下 哲 朗 岩 崎 政 孝 対 木 和 夫 和 仁 亮 裕 三 好 幹 夫 田 澤 奈 津 子	2	輪講 法曹コース生優先 (注6)
		347009	LAW407-30j00	応用演習	2	秋	土田亮, 岩崎政孝・他	3	法曹コース生優先（注6），輪講
		347001	LAW402-30j00	選択演習 I	3	春	各 教 員	3・(4)	(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347002	LAW403-30j00	選択演習 II	3	秋	各 教 員	3・(4)	(注1) (注4) 演習欄p.448および 履修上の注意を参照
		347005	LAW405-30j00	選択演習A	2	春	各 教 員	3・4	
		347006	LAW406-30j00	選択演習B	2	秋	各 教 員	3・4	
		333900	LAW105-30j00	法解釈基礎	2	秋	佐 藤 結 美	1	1年次生履修可
		330012	LAW104-30j00	現代社会と法律実務	1	2Q	コーディネータ 森 下 哲 朗 岩 崎 政 孝 対 木 和 夫 三 好 幹 夫 和 仁 亮 裕 田 澤 奈 津 子	1	輪講 (注1)
		339402	PBL304-30j00	比較憲法	2	春	江 藤 祥 平	3・4	
		336602	JUR202-30j00	比較法 I	2	休講		2	隔年開講（注4）
		336603	JUR201-30j00	比較法 II	2	休講		2	隔年開講（注4）
		333411	JUR306-30j00	英米法 I a	1	3Q	*岩 田 太	3・4	
		333412	JUR305-30j00	英米法 I b	1	4Q	*岩 田 太	3・4	
		333413	JUR312-30j00	英米法 II a	1	3Q	*岩 田 太	3・4	
		333414	JUR307-30j00	英米法 II b	1	4Q	*岩 田 太	3・4	
		333513	JUR309-30j00	ドイツ法 I a	1	2Q	松 本 尚 子	3・4	(注4)
		333514	JUR310-30j00	ドイツ法 I b	1	2Q	松 本 尚 子	3・4	(注4)
		333512	JUR304-30j00	ドイツ法 II	2	秋	松 本 尚 子	3・4	(注4)
		333611	JUR311-30j00	フランス法 I	2	休講		3・4	隔年開講

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科科目C群	333612	JUR308-30j00	フランス法Ⅱ	2	休講		3・4		隔年開講 「フランス法Ⅰ」を修得済みであること
	336505	INL305-30j00	E U法	2	休講		3・4		隔年開講 (注4)
	333800	PIL303-30j00	アジア法	2	秋	*森 口 聡	3・4		
	337011	JUR303-30j00	西洋法制史	2	春	松 本 尚 子	3・4		
	337101	CRL303-30j00	法医学	2	春	*黒 崎 久仁彦	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先
	337102	LAW301-30j00	医療と法	2	秋	コーディネータ 佐藤 結美 矢島 基美 奥田 純一郎 伊藤 栄寿	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生, 看護学科生優先
	330171	PBL306-30j00	憲法訴訟	2	春	江 藤 祥 平	3・4		(注3)
	335202	PBL301-30j00	租税法	2	秋	*浅 妻 章 如	3・4		隔年開講
	335250	PBL302-30j00	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講
	330335	CVL208-30j00	債権法総論Ⅰ (債務不履行, 弁済, 責任財産の保全)	2	春	佐 藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
	330336	CVL209-30j00	債権法総論Ⅱ (債権譲渡, 相続, 多数当事者の債権債務関係)	2	秋	佐 藤 岩 昭	2		1年次生履修不可
	332133	CVL204-30j00	物権法	2	春	奥 富 晃	2		1年次生履修不可
	332102	CVL203-30j00	担保物権法	2	秋	奥 富 晃	2		1年次生履修不可
	332203	CVL301-30j00	親族法	2	秋	羽 生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
	332303	CVL302-30j00	相続法	2	秋	羽 生 香 織	3・4		1・2年次生履修不可
	311200	CVL303-30j00	消費者法	2	休講		3・4		隔年開講 1・2年次生履修不可
	332405	CML303-30j00	会社法Ⅰ	4	春	*石 川 真 衣	3・4		
	332406	CML304-30j00	会社法Ⅱ	4	秋	梅 村 悠	3・4		
	356104	CML308-30j00	手形・小切手法	2	春	土 田 亮	3・4		経済学部「商法Ⅱ」と合併科目
	335305	CML305-30j00	商取引法	2	春	*石 田 清 彦	3・4		
	335401	CML306-30j00	保険法	2	休講		3・4		
	335503	CML307-30j00	海商法	2	休講		3・4		隔年開講
	332503	CPL302-30j00	民事訴訟法Ⅰ	4	春	安 西 明 子	3・4		
	335604	CPL303-30j00	民事訴訟法Ⅱ	2	秋	*長谷部 由起子	3・4		
	335627	CPL301-30j00	民事執行・保全法	2	秋	安 西 明 子	3・4		
	336910	CPL304-30j00	倒産処理法	2	春	田 頭 章 一	3・4		
	330501	CRL201-30j00	刑法総論	4	春	佐 藤 結 美	2		
	332680	CRL202-30j00	刑法各論	4	秋	伊 藤 涉	2		
	332703	CRL302-30j00	刑事訴訟法	4	春	長 沼 範 良	3・4		
	335703	CRL203-30j00	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光 旭	2・3		
	332801	SCL306-30j00	労働法Ⅰ	2	1Q	富 永 晃 一	3・4		
	332802	SCL307-30j00	労働法Ⅱ	2	2Q	富 永 晃 一	3・4		
	336021	SCL305-30j00	社会保険法Ⅰ	2	春	永 野 仁 美	3・4		(注4)
	336022	SCL308-30j00	社会保険法Ⅱ	2	秋	永 野 仁 美	3・4		
	339102	SCL301-30j00	経済法	4	春	楠 茂 樹	3・4		
	335811	SCL302-30j00	知的財産権法Ⅰ	4	休講		3・4		隔年開講 (注4)
	335813	SCL303-30j00	知的財産権法Ⅱ	2	春	駒 田 泰 士	3・4		隔年開講 (注4)
	333304	SCL304-30e00	RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES	2	秋	駒 田 泰 士	3・4		○ 隔年開講 (注1) A
	332910	INL201-30j00	国際法総論	4	春	兼 原 敦 子	2		
	336311	INL202-30j00	国際法各論	2	秋	兼 原 敦 子	2		
	336405	INL301-30j00	国際紛争処理法	2	秋	江 藤 淳 一	3・4		
	345015	INL303-30j00	国際組織法	2	春	*立 松 美也子	3・4		隔年開講 (注4)
	366405	LAW303-30m00	GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR	2	休講		3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
	336203	PIL302-30j00	国際私法	2	秋	出 口 耕 自	3・4		(注4)
	333308	PIL309-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	出 口 耕 自	3・4		○ (注1) A
	333309	PIL310-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	出 口 耕 自	3・4		○ (注1) A
	361601	PIL311-30j00	国際取引法総論	2	春	森 下 哲 朗	3・4		(注4)

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 学科学目C群	361602	PIL312-30j00	国際取引法各論	2	秋	森下哲朗	3・4		(注4)
	340100	INL302-30j00	国際経済法	4	春	川瀬剛志	3・4		1・2年次生履修不可
	340601	PBL303-30j00	国際租税法	2	休講		3・4		隔年開講
	333303	POL203-30j00	比較政治論	2	春	*網谷龍介	3・4		
	333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	春	*BRAZILL Marc	3・4	○	[A]
	311800	ENL301-30j00	企業環境マネジメント論	2	春	*稲見浩之・他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
	342904	PBL305-30j00	法律学特殊講義Ⅰ (立法過程の実務と理論)	2	春	*伊藤和子	3・4		
	342914	CML301-30j00	法律学特殊講義Ⅱ (信託法)	2	春	*杉浦宣彦	3・4		
	342924	JUR301-30j00	法律学特殊講義Ⅲ (法思想史)	2	秋	奥田純一郎	3・4		
	342941	CML302-30j00	法律学特殊講義Ⅳ (金融商品取引法)	2	春	梅村悠	3・4		隔年開講
	345027	INL304-30j00	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*濱本幸也	3・4		(注4)
	344808	POL302-30j00	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊志輝	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311300	ENL309-30j00	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	秋	コーディネータ 越智敏裕 *竹澤克己 *花澤俊之 *高橋大祐	3・4		輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先 (注4)
	311427	ENL313-30j00	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	休講		3・4		隔年開講
	390305	LAW202-30e00	LEGAL WRITING	2	秋	コーディネータ 森下哲朗 *TOTH Gregory	1~4	○	輪講 [A]
	390304	LAW203-30e00	LAW AND SOCIETY	2	春	FISHER James	2~4	○	(注4) [A]
	390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVES I	2	春	FISHER James	2~4	○	[A]
	390383	LAW201-30e00	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	2	休講		2~4	○	(注1) (注4) [A]
	390310	INL306-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) [A]
	390311	INL307-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (E/日) [A]
	333307	POL308-30e00	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	秋	岡部みどり	3・4	○	[A]
	337503	POL304-30e00	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦まり	3・4	○	(注5) [A]
	338010	POL307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原真子	3・4	○	[A]
	390400	POL306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	[A]
	361110	PIL308-30e00	INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	2	休講		3・4	○	[A]
	390323	PIL204-30e00	BUSINESS FUNDAMENTALS : ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE	1	休講		2~4	○	[30名] コースAQUILA登録者優先 [A]
	390340	PIL306-30e00	CONTRACTS	2	春	FISHER James	2~4	○	[A]
	390350	PIL304-30e00	CORPORATIONS	2	秋	FISHER James	2~4	○	[A]
	390360	PIL305-30e00	TORTS	2	休講		2~4	○	隔年開講 [A]
	390370	PIL307-30e00	PROPERTY	2	休講		2~4	○	隔年開講 [A]
	390390	PIL203-30e00	NEGOTIATION WORKSHOP	2	秋	森下哲朗 FISHER James	2~4	○	同時担当 [A]

履修度		科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	366406	LAW302-30m00	COMPARATIVE LAW SEMINAR	2	秋	和 仁 亮 裕	3・4		隔年開講 [25名] 1・2年次生履修不可 (注1) (E/日) A
		390384	PIL205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	秋	FISHER James		○	A
		390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	秋	FISHER James		○	A

A…コース AQUILA 認定対象科目

(E/日) … 教材＝英語／使用言語＝日本語

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 未履修者は、【環境 A】を履修すること。

(注3) 2013 年次生以前の「憲法 (統治機構) (4 単位)」未履修者は、2015 年度以降開講の「憲法 (統治機構) (2 単位)」および「憲法訴訟 (2 単位)」の 2 科目で充当すること。

(注4) 科目名の変更にとまなう重複不可の科目があるため、p.444～参照のこと。

(注5) 「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。

(注6) 法曹コース生以外の希望者は Loyola からダウンロードしたステートメントの提出が必要。

学部共通
法
律
国際関係法
地球環境法

海外短期研修科目

履修度		科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	N99219	SAC201-30e00	海外短期研修 (西オーストラリア大学)	4	秋	国際関係法学科教員	1～3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続きが翌年度におこなわれるため、2021 年 3 月卒業予定者はプログラムには参加することができるが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、p.93 並びに履修要覧 [ガイド・資料編] (p.54～56) を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院) との 3+2 プログラム単位互換科目

履修度		授業科目			単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目	学科科目C群	ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム			10	春	所属学科長	4	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院 (以下 GI) の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

(注2) GI との 3+2 プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。

(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認をすること。